

支 部 事 業 報 告 （富山6支部合同研修会）		開催日	2019年12月21日（土）
		時間	9:30 ～ 11:30
		場 所	看護研修センター第3研修室
研修会名	令和元年度 富山県看護連盟富山6支部合同研修会		
参加対象者	会員・非会員 その他（ ）		
参加者数	会員 76名	非会員10名	/参加総数86名
主 催	富山県看護連盟富山東1.2支部		
事業(研修)目的	看護連盟の役割を理解し、看護と政治のつながりを学ぶ		
研修方法	講演(○) 解説・説明(○)		

【内 容】

1.「看護連盟の現状と課題・続基礎研修」 講師：富山県看護連盟富山東1支部長 高堂昌子

看護の現場を良くするためには、政治力の強化が不可欠であること。看護の現場の声を届け看護連盟と共に看護制度改革に力を発揮してくれる、看護職の代表を国政に送り出すことが重要であると説明される。また、現在の看護職議員の活躍と今後の課題として令和元年度重点方針の説明、7月の参議院選挙対策や投票結果報告がされた。最後に今後看護職1人1人が看護連盟の必要性を理解し、活動に協力してほしいと締めくくられた。

研修会場
風景



12月に富山県看護連盟のホームページがリニューアルしました。
見てください！



2.「インフルエンザとノロウイルスの感染対策」 講師：富山県リハビリテーション病院・子供支援センター

感染管理認定看護師 吉岡智子先生

感染防止対策の基本、感染性胃腸炎、インフルエンザについての内容で講演して頂きました。感染防止対策の基本は標準予防策＋感染経路予防策である。一患者ごとに个人防护具の交換の必要性や、病原体の移動は私達医療従事者の手や医療器具による。そのため、私達の手洗いと手指衛生の必要性を話された。

感染性胃腸炎は細菌性とウイルス性が原因で感染経路、症状の説明と消毒の希釈方法について説明があり、手指衛生方法の実際を動画で見ることができた。手袋、マスク、エプロンの着脱方法の説明や、職員の健康管理についても分かりやすく説明された。

インフルエンザについて今年のデータや過去のデータを基に注意喚起されました。ウイルスの基本構造や、ワクチンの効果、感染対策、くすりについて話がありました。感染対策は持ちこまない、持ち出さない、拡げないが重要になってくる、患者さんや私達を守るために手洗いが大切である。また、今の時期は換気がよい対策であり、職員の健康管理を徹底してほしいと話されそれぞれの施設へのアドバイスをいただくことができました。

動画での
実演内容が
とても分かり易い



まとめ

アンケート内容から『今までどのような政策が行われていたか知ることができた。』という声や、連盟の活動がよりよい看護につながる事への理解が深まったと思われる。

今回非会員の方が10名参加され、アンケートにも研修会内容を理解していただけた回答があった。今後連盟会員として入会していただけるように働きかけていきたい。

感染対策はタイムリーな内容でありとても興味深く関心の高い研修会となった。講師の先生も参加者の真剣なまなざしに身が引き締まったと感動しておられた。今後も興味ある研修内容を継続していきたい。

報告者 富山東2支部 支部長 毛利 登美子